



温かくて湿気があれば カビはどこにでも発生

雨が多く、湿り気の多いころには、部屋の中だけ除湿しても、クローゼットの中は意外にジメジメしていたりするものです。

◎カビは脱色したり着色したり…料理したり?

カビの菌は空気の中に浮かんでいます。湿気の多い日本では、昔からカビの仲間である酵母とお付き合いしながら、暮らしの中で味噌や醤油、ヌカ漬けなどに応用してきました。お料理といえば、キノコもカビと同じ真菌類なのです。

◎綿素材がカビに狙われやすい

綿のコートやシャツなど、植物系の素材はカビの好物のようです。湿度70%、気温20度以上になると、がぜんカビの菌は元気になります。



特にポリ袋を掛けたまま収納していると、湿気が抜けず繁殖しやすくなります。カビは70000種類あるとされており、色や性質も色々。衣類に発生すると繊維を養分にしますから、破れたり、脱色したり着色したりとさまざまな現象を起こします。